

顧客本位の業務運営に関する取り組みについて

2021年9月28日

三井物産オルタナティブインベストメンツ

当社は金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下、「本原則」といいます。）を全て採択し、本原則を実現するための方針を定めます。

また今後も定期的に取り組状況を確認の上、そのさらなる向上に努めるとともに、必要に応じて方針を見直してまいります。

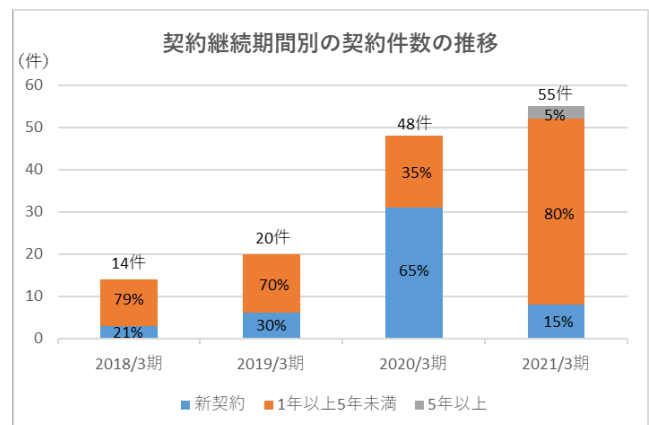
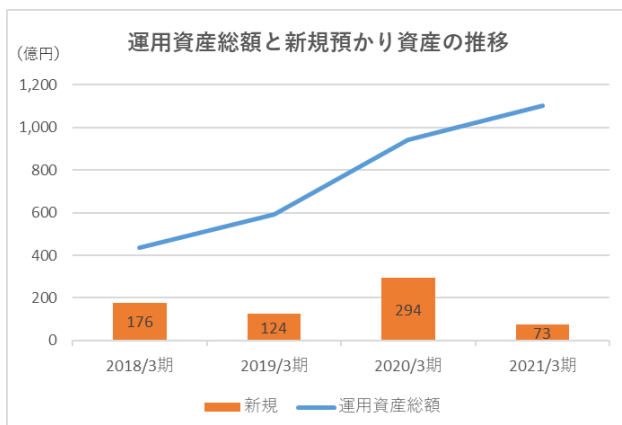
1. 顧客の最善の利益の追求

当社は国内外の高品質のオルタナティブ商品の発掘・開発を通じて、お客様の資産運用ニーズに適切なソリューションを提供することを目的としています。そのためには高い専門性と倫理観を持ち、お客様の負託に応えられるプロフェッショナル集団であり続けること、またお客様の最善の利益の実現に向けて職務に取り組むことを、役職員一人一人の行動原則としています。

金融事業者として、優れた運用商品の発掘とモニタリングのご提供を通じて、お客様とより長期的な関係を築いていくにあたっては、誠実・公正・透明性といった価値観を重視しています。

(KPI)

2021/3 末時点においては、運用会社としてお客様からお預かりしている運用資産は前年同期比の金額ベースで 17.1%、件数ベースで 14.6%増加し、また個々の契約期間も年を追うごとに長期化しています。



2. 利益相反の適切な管理

当社が、多くのお客様に対して資産運用サービスを提供する上で、また三井物産グループの企業の一員としての立場を有することにより、当社とお客様との間、またはお客様同士において利益相反関係が生じることがあります。当社が取り扱う、または投資一任運用で組入れるファンドの選定にあたっては利益相反の有無を慎重に精査し、また利益相反の可能性がある場合は「利益相反管理方針」等に基づき、厳格に対処いたします。

3. 手数料等の明確化

当社はおお客様にご提供する商品・サービスについて合理的な手数料水準を設定します。また運用商品に関してお客様が直接的・間接的に負担するコストについても、あらかじめ具体的にご説明し、お客様に十分ご理解いただけるよう努めています。

4. 重要な情報のわかりやすい提供

当社は、お客様に商品の理解を深めていただくため、運用商品の内容やリスク要因、さらに運用資産の価値に影響を与える可能性があるマーケットの動向等について、お客様に分かりやすい情報提供が十分になされるように努めています。

特に当社が提供するオルタナティブ商品においては、商品性やポートフォリオに組み込んだ際の影響について十分ご理解・検討いただけるよう、積極的な情報提供にも注力しています。

なお当社は機関投資家のお客様への商品・サービス提供に取り組んでおり、複数の金融商品を・サービスをパッケージとして販売・推奨等することはありません。

(KPI)

2020 年度においては、世界の優れた運用商品の中から当社が厳選した運用商品に関し、のべ 14 回のセミナーを開催し、453 名のお客様にご参加いただきました。

5. 顧客にふさわしいサービスの提供

当社はおお客様の資産運用ニーズを十分理解し、またお客様それぞれの知識、経験、財産の状況などに基づく適合性も踏まえた上で、最適な商品提案を行うよう心掛けています。商品提案に先立っては、商品性や流動性の制約を含めた商品固有のリスクに関する十分ご理解いただけるか否かを、社内の委員会

で審議・確認しています。従って、社内の委員会の審議・確認の結果、商品提案を控えさせていただく場合もございます。

お客様に最適なサービス提供を長期的視点で取り組んでおり、当社は商品提供前のみならず、お取引いただいた後もお客様の属性や商品性を考慮して適切なフォローアップを実施しています。

6. 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

当社は役職員がお客様本位の視点を最優先する行動原理を徹底するよう、人材の獲得・育成および動機づけに取り組んでいます。

当社における人事評価制度は、役職員が短期的な業績動向に偏重することなく、より長期的視点で顧客の最善の利益の実現に注力する意識を高めるべく、専門性、創造性、コンプライアンスなどの能力評価に加え、Integrity を最も重視するバリューとしています。またコンプライアンス研修やその他の社内研修・自己研鑽を通じて、役職員がコンプライアンス意識と共に専門性・革新性を維持・高揚できるよう取り組んでいます。